

わたしと光さん
— 意志がある人 —

グループ E 名前：ファン タン ツアン

1. 第一印象

私は日本に来てから今まで光さんは私に対して初めて話し日本人の女の子だ。最初、私のイメージは「たぶん日本人の女の子が冷たい」と考えたから、初めて話すとき、あまり話せなかった。しかし、光さんはいつも優しく親切に皆のグループと話す。まだ会ったことない私によく優しく話しをかける光さんは日本人の女の子のイメージが変われた。また、メンバーの意見を言うとき、いつも、ちゃんと聞いて、熱心で相談に参加し、それに、自分の意見もはっきり言う。それで、散歩の日、皆のグループはダジンさんの部屋へ行って、一緒にダジンさんが作った料理を食べて、いろいろ話した。そのとき、皆はただ自分の国の文化についてはなしたから、あまり光さんのことが分からなかった。

2. 特に聞きたいこと：（留学のことについて）。

授業で先生が外国へ留学するとかのパンフレットを配ったとき、光さんいつもしっかり見て、それにもらうときいつもうれしかったから、光さんは留学のことに興味するとおもった。

3. 話し合いの結果。

3.1) 6月6日。

5月23日光さんからいろいろの話しを聞かせてもらった、それで、私にとって光さんの一番印象は意志であることだ。

光さんは子どものとき、私と同じ、皆の前で何かを発表するとき、緊張したので、話せない。しかし、中学校になったら、英語のスピーチに参加して、それでだんだん皆の前でもうまくはなせるようになった。それに、いま光さんは緊張せずに、コミュニケーションが苦手な人から、自分の弱いところを克服した上で、だんだんコミュニケーションが好きになった。それで、私の質問：「なぜ、外国のことに興味をもつか」について答えたのは外国でいろんなひとに会えるし、スピーチの経験のようにもっといろんな経験を貯めるために、だから光さんは外国で自分の将来をみつけるためにいつも外国へ留学したい気持ちが強い。

また、前回の書いたものについて、光さんと少し話した。そこで、光の家族に少し分かるようになった。光さんは子どものときから、ほかの人から何かを聞かれるとき、ちゃんと聞かなければならないことを両親に厳しく教えられた。それで、光さんのお父さんは牧師なので、お父さんからの影響で話すときいつも優しく話すと光さんから言った。

3.2) 6月20日。

この日は、私は光さんのスピーチについていろいろ知りたいから、スピーチにいろんな質問を光さんにした。それで、光さんからいろんな話はなした。光さんが小学校のとき、一回コミュニケーションの英語クラスに入ったことがあった、でまわりのひとを見て、だれでも英語をべらべら話せるが、じぶんがぜんぜん分からなくて、その英語のクラスをやめた。また、まえに一回言った、自分があまり自身を持ってないので、はなすとき、いつもはずかし、緊張で、なにかを発表するときぜんぜんできない。しかし、中学校の1年生から、ある英語の先生に会って、せんせいから熱心に教えてくれて、そこでせんせいから紹介されるスキットに参加した。そこで、賞をもらうことができてから、少し自身があった。だから、2年生になった、スキットじゃなくて、一人でスピーチコンテストに参加した、それで確かにスピーチのテーマは自分の将来だった。そこで話したのは国際連合の職員になりたい。その話を聞いたとき、わたしは光さんがとてもすばらしいと思った、今もすぐ23歳わたしは将来、なにをやるかどうかまだはっきりわからないのに、ただいま毎日勉強することかアルバイトのことしか考えない。だから、皆の前で自分の将来ことを発表するなんて、すごいと思った

なお、その日の残った時間、ちょっと光さんのいまのことを聞かせた。なんか、最近ちょっと英語を悩んでしまった。いつも、自分のえいごがまだ足りない、どうやって、英語の能力を上げるのかなかを考えてばかりから、英語の勉強ことを焦ってしまった、だから能力を上げずに、止まってしまった。しかし、落ちつくことができたからまた自分の意志でじぶんを見つけられて、また「自分らしく」になった。ほかのことを考えずに、自分の生き方で行く。

また、ひかりさんの趣味も話した。私と同じ映画をみることで、とくにアメリカのアクションの映画のだ。最初、わたしは考えたのはたぶん光さんが女の子だから感動の映画とか韓国のドラマとかを好きかなと思った。だから、ちょっと驚いた。それでいろんな映画について話す、それで光さんはミッション・インポッシブルが一番好きとはなした。

4. まとめ。

3日間の間にひかりさんにいろんな話はなしたから、それでじぶんのこともかんがえた。同じ緊張感を持ったのに、いままで何年間を経っても、なかなかおせない。しかし、ひかりさんが1年間の間で自分の自身を見つけて、コミュニケーションが下手な人から、好きになる。また、じぶんの将来を見つけるために、世界へ出て、いろんなひとに接触して、そこで経験を貯めて、まわりのひとに気にしないで自分の自身で行くという考え方がすばらしい。わたしは留学したのに、しかし、最初自分で考えるじゃなくて、全部親から進めた。またベトナム最近若者がわたし見たいに、あまり将来を考えずに、ただ勉強することだ。だから、わたしにとって、だれでも、もし自分の意志で、挑戦して自分の将来を見つけるひとがすばらしいと思う、

また、確かに中学校で光さんはすばらしいせんせいにあったおかげで、自分の英語の能力を上げてコミュニケーションが好きになるかもしれない。しかし、そのときわたし

なら、チャンスがあっても、たぶんわたしが参加しないと思う。それで、今のひかりさんみたいになれるか、わからない。だから私の考えたのは自分を変えるために、たしか環境も必要だ、しかしチャンスを取ることと自分の意志もとても大切だと思う。

4. 授業を終えて

私にとって、誰でも生まれたとき同じだが、しかしそのところの環境か親とか先生からの教え方によって、皆の意識と生活がだんだん違うになる。その違うことがそのひとの特別のところだと思う。また、国では祖先が国を建ててから、いろいろの時期に渡った、その時期は国によって違う。その違うところもその国の特別のところだ。その違うところはひとと国の文化になる。だから文化とは国だけでなく人のなにかが他の国とひとに比べたら、特別のところだとおもう。

なお、コミュニケーションとは他の人に話すとき、ただ自分の話しを話すと相手の話しを聞くだけでなく、聞いた話しの相手から、自分の考えたことを自分の言葉で言うことだ。

それに、わたしは日本に来てから、あまり日本人と他の国の人と話すことがないから、だから、なにを話すのがいいかどうかわからなかった、また、わたしは作文を書くことも下手だから、話した人について書くことなんてとても難しいとおもう。しかし、長い時間を過ごし、新しい友だちができて、また、わたしはサークルとか参加することもないし、みな 베트남人の友達はアルバイトの時間が違うから、学校を終わったら、アルバイトがない日、自分の部屋にいるまま、だから、この授業でみなと話せて、とてもいいと思う。